



## アドビ、「Adobe Summit EMEA 2023」で新たなイノベーションと欧州における顧客の成功事例を紹介

- コンテンツ サプライチェーン ソリューションを欧州に拡大、Adobe Experience Cloud と Adobe Creative Cloud を連携し、ジェネレーティブ AI 技術をクリエイティブとエンタープライズ双方のアプリケーションに提供する新機能を発表
- 大手 B2B 企業を含む Fortune 100 企業の 87%が Adobe Experience Cloud を導入、ヘルスケアや金融サービスなどの分野で急速に採用が拡大
- 温室効果ガスの排出量ネットゼロ目標への取り組みの表明。2025 年に事業用電力の再生可能エネルギー化 100%を目指す
- カンファレンスでは、Accenture、Adidas、Covento by Vestas、Crédit Agricole、Daimler Benz、Henkel、H&M、Hugo Boss、Prada Group、Publicis、Real Madrid、Salomon、Santander、Stellantis、Team Viewer、TSB Bank、Volkswagen など欧州の顧客の成功事例を紹介

※当資料は、2023 年 6 月 8 日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2023 年 6 月 8 日】

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、業界をリードするデジタルエクスペリエンスカンファレンス「[Adobe Summit EMEA 2023](#)」を開催し、世界有数の顧客体験管理ソリューションである [Adobe Experience Cloud](#)、商用利用にも安心して利用可能なジェネレーティブ AI サービスである [Adobe Firefly](#) といった幅広い製品と新機能を発表し、顧客企業とともにエクスペリエンス主導の成長 (Experience-Led Growth) の促進に取り組んでいることを示しました。

Adobe Experience Cloud は、Fortune 100 の 87%、Fortune 500 の 74%を含む 12,000 社以上の企業に採用されており、顧客体験を提供、測定、パーソナライズする業界最先端のプラットフォームとして、Accenture、Adidas、Covento by Vestas、Crédit Agricole、Daimler Benz、Henkel、H&M、Hugo Boss、Prada Group、Publicis、Real Madrid、Salomon、Santander、Stellantis、TeamViewer、TSB Bank、Volkswagen などのヨーロッパのトップ企業から厚い支持を受けています。アドビは、Adobe Experience Cloud for Healthcare をはじめとする業界特化型ソリューションから、金融サービスや B2B 向けの

高度にパーソナライズされたマーケティングエンジンまでを提供することで、世界中の企業がエクスペリエンス主導の成長を促進できるよう支援します。

アドビのデジタルエクスペリエンス事業部門担当プレジデントのアニール チャクラヴァーシー (Anil Chakravarthy) は次のように述べています。「今日のデジタルエコノミーにおいて、消費者はより多くを企業に期待するようになってきました。これは顧客体験を重要な差別化要因と捉え、そこに明確に焦点を当てなければならないことを意味します。アドビは、業界をリードするエンタープライズアプリケーションと強力なイノベーションエンジンの両方を持っており、企業がこの課題に立ち向かい、エクスペリエンス主導で持続的に成長するのを支援するのに最適なポジションにいます。」

[アドビの最近の調査](#) (英語) によると、マーケティングおよび顧客体験 (CX) リーダーの 88% が、コンテンツ需要は過去 2 年間で少なくとも 2 倍になったと回答し、約 3 分の 2 が今後 2 年間でコンテンツ需要が 5 倍になると予想しています。アドビは、欧州の企業が急増するコンテンツ需要に対応し、インパクトのある顧客体験を提供できるよう、Accenture、IBM、Omnicom、Publicis をはじめとする世界的なコンサルティング会社や広告代理店と提携し、[コンテンツ サプライチェーン ソリューション](#) を欧州に展開することを発表します。この新しいソリューションにより、企業はコンテンツ開発の速度を上げることができ、CX リーダーには、オペレーションとコストに関する比類のない可視性とコントロールを提供します。

アドビはまた、Adobe Firefly (商用利用も安心して利用可能なプロ品質のコンテンツを生成するジェネレーティブ AI サービス) を、デジタルコンテンツへの急増する需要に対応する新しいエンタープライズ向けソリューションとして提供することを発表しました。

「Adobe Firefly エンタープライズ版」は「Adobe Express エンタープライズ版」と併用することにより、企業が Adobe Firefly を組織全体のすべての従業員に提供し、誰もが素早く簡単に、ブランド価値の高いコンテンツを生成、編集、共有できるようにします。この新しいサービスには、今後自社が所有するブランド資産で Adobe Firefly をカスタムトレーニングし、ブランド独自のスタイルとブランド言語でコンテンツを生成できるようにする機能も計画されています。さらに、エンタープライズ向けの強力なジェネレーティブ AI サービス「[Adobe Sensei GenAI](#)」が [Adobe Customer Journey Analytics](#)、[Adobe Experience Manager](#)、[Adobe Marketo Engage](#) から利用できるようになり、生産性の大幅な向上と、パーソナライズされた顧客体験の大規模な提供が可能になります。

## EMEA Summit で発表されたその他のイノベーション

- Adobe Express を再構築し、ジェネレーティブ AI 「Adobe Firefly」 を Adobe Express に搭載しました。本日提供を開始した Adobe Express の最新バージョン

では、アドビが誇る写真、デザイン、ビデオ、ドキュメント作成ツールのパワーと精度をジェネレーティブ AI ツールと共に新しいオールインワンの編集アプリに集約し、画像の背景除去、際立つ SNS 動画コンテンツの作成、PDF の編集、音声と同期したキャラクターのアニメーションなど、これまで時間のかかっていた作業を、素早く、手軽に、楽しく行えるようになりました。Adobe Express のワークフローに Adobe Firefly を直接組み込んだことで、あらゆるレベルのクリエイターが、自分の言葉で指示を出すだけでユニークな画像やテキストエフェクトを作成できるようになり、SNS 投稿、ポスター、チラシなどもより美しく仕上げられます。

- [Adobe Real-Time CDP](#)、[Adobe Journey Optimizer](#)、[Adobe Customer Journey Analytics](#) によって**パーソナライズされたインサイトとエンゲージメントの実現が [Adobe Experience Platform](#) で可能**になり、デジタルトランスフォーメーションは次のレベルに進化しました。新しいグローバルパートナーとの連携と、高度なオーディエンス管理機能により、パーソナライゼーションキャンペーンの配信が大幅に加速し、企業は組織のどこからでもオーディエンスセグメントを Adobe Real-Time CDP に自動的に取り込めるようになっただけでなく、統合型のガバナンス機能や、最も価値の高いセグメントを表示する機能などの新しい管理機能も追加されました。
- **AI 搭載の新機能をさまざまな Adobe Experience Cloud アプリケーションに投入することで、適用範囲を拡大**します。本日アドビは、エンタープライズ顧客向けの新製品「[Adobe Product Analytics](#)」の提供開始を発表します。これは、製品チームにセルフサービス調査機能を提供し、顧客における製品の導入、利用状況を完全に理解できるようにするものです。併せて、[Adobe Mix Modeler](#) と次世代の Adobe Experience Manager のグローバルへの拡大提供と、Adobe Journey Optimizer の最新バージョンへの AI 機能搭載を発表しました。

## アドビとサステナビリティ

サステナビリティと気候変動対策への長年のコミットメントの一環として、アドビは Adobe Summit EMEA において、当初の予定より 10 年早い 2025 年までに、事業用電力の 100%を再生可能エネルギーで賄う見込みであることを発表しました。これは、地域や地方における太陽光発電・風力発電の利用とグリーン料金電力の調達の見合わせによって実現します。また、遅くとも 2050 年までにネットゼロの目標を達成するというコミットメントと、すでにその目標に向けて前進していることも明らかにしました。

## 提供開始時期

Adobe Firefly エンタープライズ版の提供は 2023 年下半期を予定しています。

## Adobe Summit EMEA の視聴方法

[Summit EMEA の web ページ](#)（英語）では、Adobe Summit EMEA の基調講演をオンラインで視聴できるほか、イベントのセッションの検索、同業者とのネットワーク、アドビのエキスパートとのライブトークを提供しています

### ■「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。

[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2023 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.